

ボルグワーナー、高電圧クーラントヒーター技術で2つの受注を獲得

- 高電圧クーラントヒーター(HVCH)により、バッテリー性能の向上、航続距離の延長、充電速度の高速化、快適な車内環境を実現
- コンパクトなモジュール設計、高い熱出力密度、高速応答を特長とするコスト効率の高いソリューション
- 800V車に対応

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric B.Lissalde)は、グローバルな自動車メーカー1社と中国の自動車メーカー1社の電気自動車の新モデル向けに、先進的な高電圧クーラントヒーター(HVCH)を受注したことを発表します。ボルグワーナーの800V高電圧クーラントヒーターは、既存の400Vクーラントヒーターを補完するもので、強化されたエレクトロニクスと信頼性の高い設計が特徴で、今後のビジネス成長のための確固たる基盤を築くものです。

ボルグワーナーのクーラントヒーターは、コンパクトなモジュール設計により、パッケージのサイズと重量を低減しています。バッテリーパックとそのセル内の温度分布を一定にすることで、電気自動車(EV)やハイブリッド車(HEV)のエネルギー性能を向上します。また、短時間で快適な車内温度を実現し、運転や乗客の快適性を向上します。また、熱出力密度が高く、熱質量が小さいため応答速度が速く、バッテリーの消費電力が少ないため、純粋な電気自動車の走行距離を延ばすことができます。

ボルグワーナーの高電圧クーラントヒーターは、最新の厚膜素子(TFE)技術を採用しており、発熱体の寸法やサイズの面で、大きな柔軟性を実現しています。素早く熱を発生させる高性能システムの需要に応えるために開発されたこの発熱体は、効率的な熱伝達のために冷却液に浸されています。250~800Vの電源電圧のアプリケーションに適しており、3~10kWの出力範囲を提供します。

ボルグワーナーの 800V および 400V の高電圧クーラントヒーターを搭載した新しい電気自動車モデルは、それぞれ 2023 年末と 2024 年初頭に生産を開始する予定です。

ボルグワーナーのエミッション/サーマル/ターボシステムズの社長兼事業本部長のジョー・ファドゥール (Joe Fadool) は、「弊社の革新的なヒーター技術をこれら 2 大自動車メーカーに提供することは、最新のクリーンモビリティのトレンドに対応するという弊社の取り組みをさらに裏付けるものであり、光栄に思っています。ボルグワーナーの広範な先進的バッテリーおよびキャビンヒーターシステムは、その優れた効率と性能により、世界の完成車メーカーに広く認められています。例えば、これらのシステムは、バッテリー温度を最適なレベルに保つことで車両のバッテリー稼働時間を向上させるとともに、理想的な室内気候を実現することで乗客の快適性を向上させるのに役立ちます」と述べています。



ボルグワーナー、高電圧クーラントヒーター技術で 2 つの受注を獲得

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針 (Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の

進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、当社または当社顧客に影響を及ぼす供給停止(受託製造会社(OEM)顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等)、商品の入手可能性および価格、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー(主に電気自動車関連)およびそれに対する当社の革新能力に関連する困難、新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、電気自動車の需要予測および当社の電気自動車売上成長率の予測の困難、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、近頃のAKASOL AG社、Santrollの乗用車用eMotor事業、Rhombus Energy Solutionsおよび2020年のデルファイ・テクノロジー社の買収を含む買収から期待される利益の適時な実現の不実施、売却に適切な燃焼系ポートフォリオ事業を特定し、計画された売却を受け入れ可能な条件で完了させる能力、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右され、停止の可能性がある)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、金利の変動および外貨の為替レートの変動、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性および地域経済における景気後退の可能性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または処分の可能性による影響、直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 070-4303-7215(中井)、080-8072-4973(浜辺)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp